

## 令和7年度 中央卸売市場運営方針

( 所属長：中央卸売市場長 山田 国広 )

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	中央卸売市場は、安全・安心な生鮮食料品の安定供給を行う流通の拠点施設であるとともに、大阪経済における産業基盤としても重要な存在であり、大都市の基本インフラとしてその役割・機能を十分に発揮し、市民・消費者の食生活の安定に資する。
使命	適正かつ健全な市場運営の確保に向けて、官民が各々の役割と責任を認識し、連携のうえ、公共性の確保、経営の安定化、競争力の強化などの課題に取り組み、中央卸売市場が担っている社会的役割・機能を安定的かつ持続的に発揮していく。
令和7年度所属運営の基本的な考え方	安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給するという中央卸売市場の社会的役割・機能を持続的に発揮していくため、民間活力を最大限活用すべく業務の効率化による管理運営経費の削減により、収支改善に向けた取組をおこなうことで経営基盤の安定化を図るとともに、市場内事業者と一体となって市場機能の維持・強化に向けた取組を進める。

重点的に取り組む経営課題							
経営課題1 経営基盤の安定化							
		5決算額	ー円	6予算額	ー円	7予算額	ー円
課題認識	<p>経営健全化基準達成後も依然として多額の累積欠損金を計上するなど厳しい状況であり、収支改善に向けた取組を積極的に行っていく必要がある。</p> <p>市場をめぐる状況は厳しさを増しているが、生鮮食料品を安定供給する流通の拠点施設として、さらには大都市の基本インフラとして、今後、さらにその役割・機能を発揮していけるよう経営基盤の安定化を図る必要がある。</p>						
主な戦略 (課題解決の方策)	中央卸売市場事業会計において、引き続き経営の健全性の確保に向け、取組を推進する。						
アウトカム 指標 (経営課題の解決に向けた進捗度を示した指標)	資金不足比率を20%未満に抑制(令和5年度～令和7年度)						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	7年度実績と達成状況 ※A:達成 B:未達成			前年度実績			
	資金不足は生じていない			A	資金不足は生じていない		

## 経営課題2 市場機能の維持・強化

5決算額

6,584百万円

6予算額

15,798百万円

7予算額

1,065百万円

## 課題認識

安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給する大都市の基本インフラとして、今後、さらにその役割・機能を発揮していけるよう市場機能の維持・強化を図る必要がある。

主な戦略  
(課題解決の方策)

- ・市場機能の維持のため、施設を安全・良好な状態に保全管理する。
- ・市場機能の強化のため、南港市場施設整備事業を推進する。

アウトカム  
指標

(経営課題の解決に向けた進捗割合を示した指標)

本場市場西棟アスベスト対策事業の推進〔工事進捗率：100%（令和8年度）〕

南港市場施設整備事業の推進〔工事進捗率：100%（令和10年度）〕

アウトカム  
指標の達成状況  
(定量評価)

7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成

前年度実績

工事進捗率：62.6%

A

工事進捗率：13%

工事進捗率：73.1%

A

工事進捗率：79.3%

自己評価  
(運営方針全体の  
定性評価)

- ・経営基盤の安定化については、令和7年度は業務管理棟の来客用駐車場の目的外使用許可を行い、新たに使用料収入を確保することができた。また、本場業務管理棟の入居促進や民間活力を最大限活用した業務の効率化に取り組んでいる。
- ・市場機能の維持・強化については、本場市場西棟において、石綿除去工事及び囲い込み工事を実施し、全体工事の62.6%が完了した。また、南港市場施設整備事業は、対米等輸出認定の取得に必要な改修工事が生じたため設計変更を行い、工期を令和9年4月30日から令和10年12月28日まで延伸した。これに伴い、工事進捗率は73.1%となっているが、令和7年度の工事は予定通り進んでいる。なお、前年度実績の79.3%は設計変更前の進捗率である。

## 今後の方針

中央卸売市場は安全・安心な生鮮食料品を安定的に市民に供給する役割を担っており、今後、さらにその役割・機能を発揮していけるよう市場の活性化を図る取組を、卸・仲卸など市場内事業者と連携して積極的に進める。